

9月号
2023 Vol.10

田水郷通信

◆ Topics

- 4年ぶりに仙台七夕まつりイベントブースを出展しました
- 仕組み丸わかり！ 田んぼダム出前講座を実施しました
- 田水郷コラム「あまくて栄養満点！みやぎ米を召し上がれ♪」

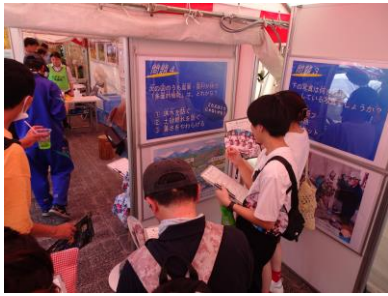


4年ぶりに仙台七夕まつりにイベントブースを出展しました

令和5年8月6日（日）から8日（火）の3日間に開催された仙台七夕まつりにおいて、東北農政局・宮城県・水土里ネットみやぎの主催により、農業農村整備事業の果たす役割や、農業・農村の魅力を伝えるためのブースを4年ぶりに出展しました。

来場者は、クイズパネルを通じて、農業に欠かせない水・土・里について学び、子どもたちは美味しいみやぎ米などが当たるくじをドキドキしながら引いていました。

水土里ネットみやぎのブースは、親子で楽しめるコーナーが満載で、うちわに思い思いの絵を描いたり、生き物の模型で釣りを体験して、にぎやかな声で溢れていました。田んぼの生き物の展示では、普段見られない生き物を目にした来場者が、目を輝かせながら観察していました。



▲ クイズパネル展示



▲ くじ引き



▲ むすび丸登場



▲ うちわにお絵描き



▲ 生き物模型で釣り体験

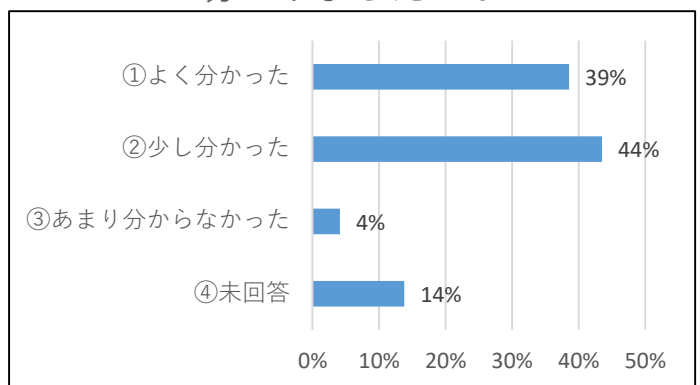
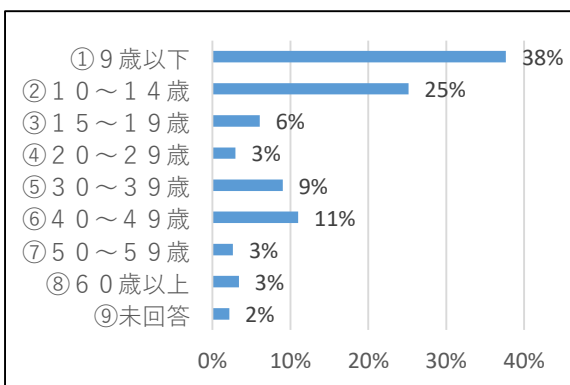


▲ 田んぼの生き物展示

来場者には、クイズの解答とともにアンケートを記入してもらいました。アンケートの回答者数は、3日間でのべ1, 864名になりました。主なアンケート結果は以下のとおりとなり、回答いただいた方の年代は、20歳未満が約7割、その親世代にあたる30～49歳で約2割を占め、ご家族での来場を多くいただきました。また、農業農村整備事業の役わりについては、約8割の方に分かったと回答していただき、ブースを通じて多くの方に農業農村整備事業の役割や魅力に触れていただくことができました。

あなたの年齢は？

農業農村整備事業の役わりが
分かりましたか？

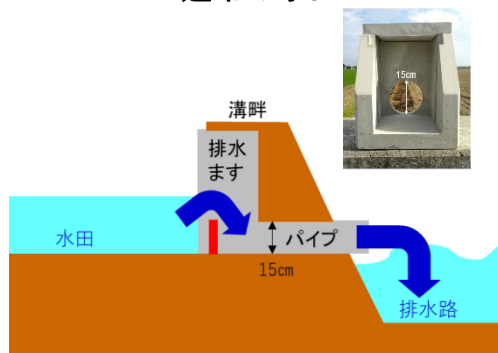


仕組み丸わかり！ 田んぼダム出前講座を実施しました

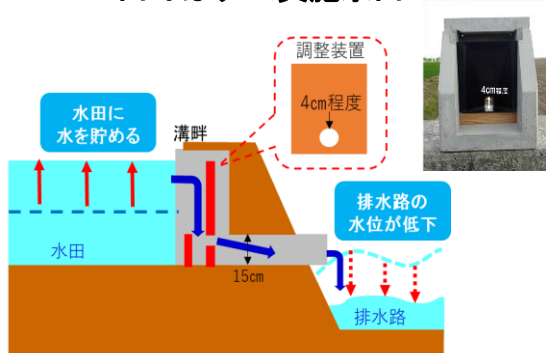
県が推進している田んぼダムの役割や仕組みを学んでもらう出前講座を、9月20日（金）に県庁で実施しました。今回は、宮城県消費者団体連絡協議会から申し込みをいただき、団体の会員20名の方に対して講座を実施しました。

田んぼダムの仕組みのイメージ図

通常の水田



田んぼダム実施水田



講座では、スライドや落水ますの模型を用いての説明や田んぼダムの模型実験の動画の放映を行いました。田んぼダムの効果について、広大な面積の田んぼを利用することで、貯水量数千万トンに及ぶダムにも匹敵するほどの水を貯められることや、かかる費用が少なく、取組をすぐに始めることができることなどを説明し、田んぼダムに関する理解や関心を深めてもらいました。



会場の様子



落水ますの模型を使った説明状況

この講座で放映した動画はYouTubeに公開しています。田んぼダムの仕組みや効果について分かりやすく解説しているので、ぜひご覧ください。

仕組み丸わかり！ 模型で実験

「田んぼダム～普段は田んぼ、時々ダム～」(YouTube)

→ <https://www.youtube.com/watch?v=UwxhMoxNqX0>





もうすぐ美味しい新米が食べられる季節がやってきますね。みなさんは、どうして宮城県のお米がおいしく育つか知っていますか？これには宮城県の気候が大きく関係していて、稲が大きく育つ7月～9月の間、昼は日照に恵まれて暖かく、夜は適度に気温が下がるという特徴がその要因です。この寒暖差によって、お米の粒にしっかりとデンプンが蓄積され、みやぎ米特有の甘さともっちりとした食感を引き出しているのです。

今回は、そんなおいしいみやぎ米の中でも特に人気の4種類のみやぎ米を紹介します。

①どんな料理にも！ひとめぼれ

ひとめぼれは、粘りやうまみ、甘み、つや、香りなどのバランスの良さが最大の特徴です。和洋中どんな料理とも相性が良く、飽きのこない味で、毎日の食卓にぴったりのお米といえるでしょう。



②甘くてもちもち！だて正夢

だて正夢はもちもちとした食感が特徴で、噛むごとに甘みとうまみが味わえる一品です。でんぷん質の一種であるアミロース含有量が少ないため、冷めても柔らかさが持続します。そのため、おにぎりやお弁当にもぴったりです。



③さっぱりした味わい！ササニシキ

ササニシキはおかずの味を引き立たせる、さっぱりとした味わいが特徴です。また、パラパラとする特徴があるため、チャーハン等の炒めご飯や丼料理、中華料理にもよく合います。



④身体に嬉しい！金のいぶき

金のいぶきは宮城県から生まれた玄米ブランドで、胚芽が大きいことが最大の特徴です。そのため、通常の玄米と比べて栄養が豊富で、リラックス効果のあるGABAや強い抗酸化作用を持つビタミンEがたっぷりと含まれています。



～宮城県農業農村整備関係部署一覧～

県庁農政部		県出先機関	
農山漁村なりわい課	022-211-2657	大河原地方振興事務所 農業農村整備部	0224-53-3111
農山漁村調整班、交流推進班		仙台地方振興事務所 農業農村整備部	022-275-9111
中山間振興班、6次産業化支援班		北部地方振興事務所 農業農村整備部	0229-91-0701
農村振興課	022-211-2861	北部地方振興事務所 栗原地域事務所 農業農村整備部	0228-22-2111
指導班、企画調整班、地域計画班、		東部地方振興事務所 農業農村整備部	0225-95-1411
技術管理班、広域水利調整班、		東部地方振興事務所 登米地域事務所 農業農村整備部	0220-22-6111
農村整備課	022-211-2871	気仙沼地方振興事務所 農業農村整備部	0226-24-2121
事業経理班、換地・用地班、ほ場整備班		王城寺原補償工事事務所	022-345-5175
水利施設保全班			
農村防災対策室	022-211-2875		
防災対策班、ため池対策班			

問い合わせ先

〒980-8570 仙台市青葉区本町3丁目8番1号

宮城県農政部農村振興課企画調整班

電話：022-211-2863 E-mail：nosonshin@pref.miyagi.lg.jp

農村振興課HP：https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nosonshin/